

学校運営協議会議事録

校名	府立西浦支援学校
校長名	山崎 彩
准校長名	鈴木 亮彦

開催日時	令和6年6月24日(月) 10:00~11:30
開催場所	大阪府立西浦支援学校 校長室
出席者(委員)	加藤委員、新田委員、葉山委員、八木委員、今西委員、荻野委員
出席者(学校)	山崎校長、鈴木准校長、三宅教頭、榮教頭、中村事務長
	中谷部主事、福井教務主任、川口首席、小池首席、小海首席
傍聴者	0人
協議資料	
備考	

議題等(次第順)	
(連絡・報告)	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度学校経営計画 ・令和6年度SPS認証に向けた取組みについて ・令和6年度農福連携の取組みについて ・10周年記念事業の経過報告 ・令和3~5年度研究成果報告及び令和6年度研究テーマについて 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
【委員からの主な意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒に対する進路指導には難しさがあると思う。早期から相談支援を利用するよう勧めたり作業所を紹介したりするなど高等部卒業後の進路を考える機会を設けてはどうか。かつてのように保護者どうしのつながりが希薄になってきていて、進路に関する情報をキャッチできていない方が増えている印象がある。 ・西浦東小学校では、羽曳野市の伝統野菜である『うすいえんどう』を栽培して給食で使用し、食育の一貫としている。また、市の給食センターと連携した取組みも進めている。西浦支援学校も学校の取組みを大阪府と連携するなど、取組みを大きく広げていってほしい。 ・大雨時に大乗川が増水して危険な状況になることが増えている。かつては畑や田んぼが広がっていたが、開発が進んだことで水が貯留される場所が減って、一気に増水しやすくなっているようである。児童生徒の学習の機会を奪うわけにはいかないため、安易に学校を休業することはできないと思うが、必要に応じて各家庭で自宅待機の判断をしてもらうなど、危機感を持った対応が求められる。 ・SPS認証を受ける際は学校一丸となって取組みを進めると思うが、認証を受けた数年後に教員が入れ替わると安全教育への熱意が薄れ、形骸化する学校もあると聞いている。そこに注意して組織的に取組みを進めてもらいたい。 ・自立活動の指導についても、今後の取組みに期待している。 	

次回の会議日程	
日時	令和6年11月下旬 10時開始予定
会場	府立西浦支援学校 校長室